

DISC GRINDER

ディスクグラインダ SD-100B

取扱説明書



6096-830101

このたびはディスクグラインダをお買上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。
お読みになったあとは必ず保存してください。

株式会社
SHINKO 新興製作所

東京都千代田区神田東松下町11
郵便番号101 電話 東京03(3252)8861(代)

■電動工具ご使用についてのご注意

- 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧でご使用下さい。100V用のものを間違えて200V電源に接続して使用しますと、モーターの回転が異常に高速となり、機体が破損するおそれがあります。
- 湿った場所、ぬれた場所、機体の内部に水や油などの入りやすい場所では使用しないで下さい。
- 感電防止のため、漏電遮断器が設置されていることを確認して下さい。設置されていない場合は、二重絶縁品を除き必ず正しい接地(アース)をして下さい。
- 引火、爆発の恐れのある物質(ラッカー、シンナー、ペイント、ガソリン、ガス等)のある場所では危険ですから絶対に使用しないで下さい。
- 作業する場所には作業関係者以外は近づけないで下さい。作業の前に作業場所を確認してから作業を開始して下さい。
- 無理な姿勢で作業をしないで下さい。常に足場に注意し、安定した姿勢で作業して下さい。
- 作業はきちんとした服装で作業をして下さい。ネクタイをつけたり、袖口を開いたまま作業をしますと、回転物に巻き込まれる恐れがあり、大変危険です。
- 作業場所、作業台は常に整理をし、明るくして作業をして下さい。
- 電源コードをつかんで本機を運んだり、スイッチに手をかけて運んだりしないで下さい。又、電源コードの上に物を置かないで下さい。
(注) コード線が損傷したら、すぐに新しいコードと交換して下さい。
- 作業中は保護メガネをご使用下さい。又、埃が発生するときはマスクをご使用下さい。
- 機体の風窓はモーターを冷やすために必要です。埃が飛ぶからと言って風窓をふさがしないで下さい。もし、ふさいだりしますとモーターの温度が上昇し、焼損の原因となります。
- 工具(スバナ、ネジ回し等)は運転前に本機から取除いて下さい。
- 運転中は絶対に回転部にふれないで下さい。運転中に異常に気がついたとき、点検、修理、先端工具の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いて下さい。
- 作業が終了したら、埃を取り除き、手入れをしてお子様の手のとどかない、湿気の少ない場所に保管して下さい。
- 常に安全に能率よくご使用していただくため、定期点検をして下さい。
- 本機は取扱説明書に指定された以外の用途には使用しないで下さい。
- 先端の取付工具はよく手入れをして、よい条件でご使用下さい。手入れの悪いものを使用しますとモーターが過負荷となり、故障の原因となり、作業の能率もあがりません。
- 本機を誤って落としたり、ぶつけたりしますと、変形したり亀裂や損傷を生じることがありますので、取扱いに注意して下さい。
- 本機をお子様など取り扱いを知らない人、正しい操作が出来ない人には絶対使用させないで下さい。
- 本機の部品を交換する場合は、必ず指定された純正部品をお使い下さい。修理はお買求めの販売店または、当社にお申し付け下さい。
- 工場または事業所で使用する場合は、各都道府県等の条例で定められた騒音規制値以下でご使用になることが必要です。必要に応じ防音扉を設け周囲に迷惑をかけないようにご使用下さい。

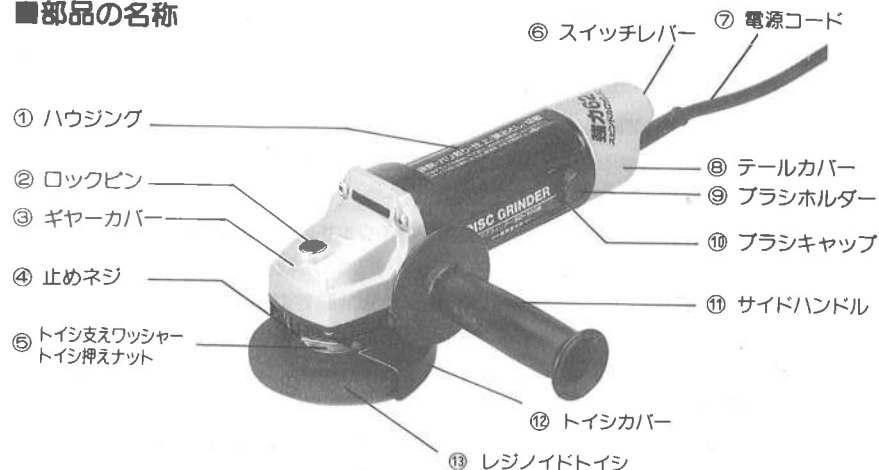
■ディスクグラインダの使用上のご注意

- 本機は各種金属、コンクリート、石材、スレート、樹脂などの乾式平面研削を目的とする携帯用工具です。
(注) トイシの上面、側面は使用しないで下さい。
- 水や研削液等を使用しますと、感電事故のもとになり、危険ですので絶対に使用しないで下さい。
- 研削トイシで切断作業をしますと破壊する恐れがありますのでしないで下さい。切断のときは切断トイシをご使用下さい。
- トイシを上方向にして、本機を固定して使用しますと危険ですのでしないで下さい。
- トイシカバーは必ず取り付けてご使用下さい。取りはずして使用しますと危険です。
- 使用前にトイシに亀裂、割れがないことを確認して下さい。又、トイシの止めネジが締まっていることを確認して下さい。
(注) トイシに亀裂などがある場合は、新しいものと交換してから使用して下さい。
- 回転中はトイシに手を触れないで下さい。又、身体に近付けないで下さい。
- 作業中は保護メガネをご使用下さい。又、研削粉が多く出るときはマスクをつけて下さい。
- 研削粉は火花となって飛散しますから引火しやすいもの、傷つきやすいものは近くに置かないで下さい。又、研削火花を直接手足などに当てないようにして下さい。
- 使用中は本機を確実に保持して作業をして下さい。
- 研削する材料は確実に保持して作業をして下さい。
- 回転中はロックピンを押さないで下さい。又、ロックピンを押したままスイッチを入れないで下さい。
- 回転させたままで床などに置かないで下さい。
- トイシの交換、ブラシの交換をするときは、必ずスイッチを切って、電源プラグを電源から抜いて下さい。
- 無理に押しつけて、回転数が大幅に低下するような負荷をかけないで下さい。作業能率が低下するだけでなく、本機の寿命が短くなります。
- コード線を長く接続して使用するときは、適正な太さのコード線を使用し、モーターの力の低下を防止して下さい。
- と石の取替え試運転は、トイシの安全作業に関する特別指導を受けた人がするようにして下さい。(労働安全衛生法による)

■用途

- 金属(板、骨材、鋳物)の研削、仕上、バリ取り、錆落とし。
- 金属(板、骨材)溶接、溶断部の研削、バリ取り、面取り。
- レンガ、石、合成樹脂等の表面仕上。

■部品の名称



■仕様明細

型 式	ディスクグラインダー SD-100B
電 圧	100V
周 波 数	50/60HZ
消費電力	620W
全負荷電流	6.5A
回 転 数	11,200RPM
トイシ寸法	100×6×15%, レジノイド
電源コード	アースグリップ付3芯キャップタイヤケーブル1.8m
重 量	2.2kg
定 格	30Min

*品質改良のため製品仕様がかわることがあります。

■付属部品

トイシ	レジノイドトイシ(本機にセットして使用)	1
スパナ	トイシの交換に使用	1
サイドハンドル	本機にセットして使用	1

■点 検

- 運送中に本機に破損した箇所がないかご確認下さい。特にトイシの亀裂、割れをご確認下さい。
- 運送中にボルトやナットの脱落がないかご確認下さい。万一ボルト、ナットのゆるみ等がある場合は、正規の状態に締め付けて下さい。
- その他不具合などの点がありましたら、お買上げ店または当社にご連絡下さい。

■作業前の準備

- ご使用前に本機が接続される電源に感電防止用漏電遮断装置が設置されているかどうか確認して下さい。
- 漏電遮断装置が設置されていない電源で使用になる場合は、アースを設置して下さい。この場合、電源プラグの先端のアースグリップをご使用下さい。
- 電源の位置がはなれているときは、延長コードを用意して下さい。延長コードを使用するときは使用する長さに応じ、十分な容量のコードをご使用下さい。コードをあまり長くしたり、細いコードを使用したりしますと、電圧の降下が大きくなり、モーターの力が弱くなります。コードはできるだけ短くしてご使用下さい。
- コードに損傷があるときは、すぐに交換または修理をしてご使用下さい。
- 作業場所が注意事項に適合しているかどうか確認して下さい。

■作業前の点検(電源プラグを電源に差し込む前の点検)

- 使用する電源を確かめて下さい。100Vのものを200V電源に接続すると、モーターの回転が異常に高速となり、本機が破損するおそれがあります。
- スイッチが切れていることを確認して下さい。スイッチがONになっていましたと、電源プラグを電源に差し込むと同時に起動し、思わぬ事故のもとになります。
(注) スイッチがOFFになっている事を確認して下さい。
- トイシカバーは回転中トイシが破損した時の保護になります。必ず付けて使用して下さい
- トイシに亀裂、割れがないかご確認下さい。又、正しくセットされているか点検して下さい。
- 作業前に人のいない方向にトイシを向けて試運転をし、トイシに異常のない事を確認して下さい。

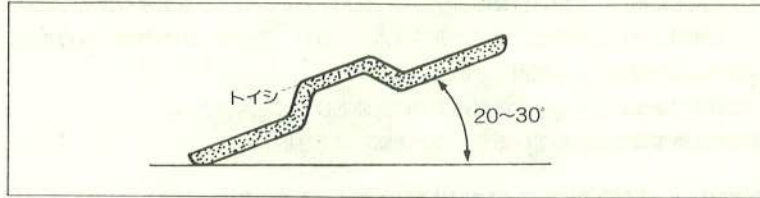
■トイシについて

- 本機に付属のトイシは、レジノイドトイシで、と粒A、粒度36、結合度Q、結合剤B がついています。
- トイシの外径は100%です。外径が60%位まで摩耗しましたら新品と交換して下さい。
- トイシの交換の時は、亀裂の有無を確認し、亀裂の入っているものは絶対に使用しないで下さい。
- トイシの選択表

研削材料の材質	トイシの種類			
	と粒	粒 度	結合度	結合剤
一 般 用	A	36	P又はQ	B
鋼材、鑄鉄一般	A	36	N	B
特に硬い鑄鉄(マンガン鑄鉄など)	A	36	L	B
硬性非鉄金属(アルミ、亜鉛合金など)	C	20	L	B

■削り方

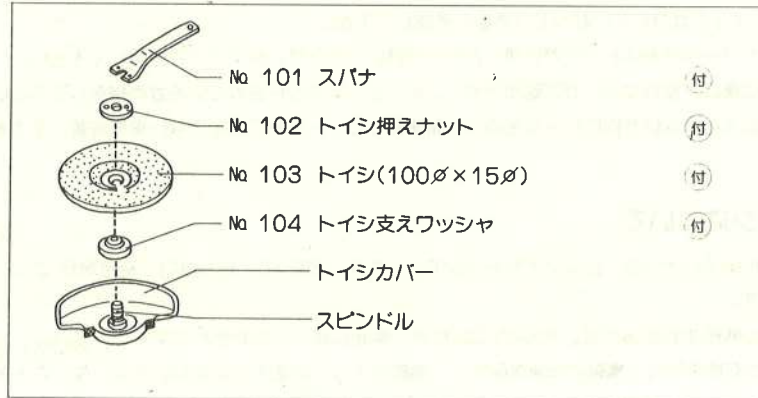
- トイシを研削する材料の面に、強く押しつけないで下さい。トイシを研削材料の面に軽くあてる程度で保持しますと、自重で研削することができます。
- トイシの押しつけ角度は材料の面からトイシの面が20°～30°位が適当です。
(注) トイシの全面を材料にあてないで下さい。
- トイシが新しい時は後へ引くようにして使用して下さい。周囲の角が少し摩耗してきますと、前方向に進めても、後へ引いてもご使用になれます。



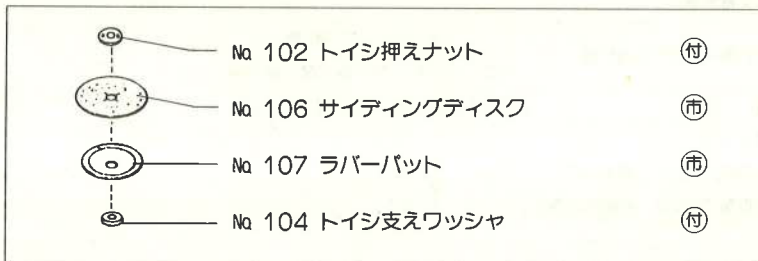
■付属品、特別付属品(別売)の明細

(注) 付属品は㊟、市販物は㊞、特注物は㊟の表示になっています。

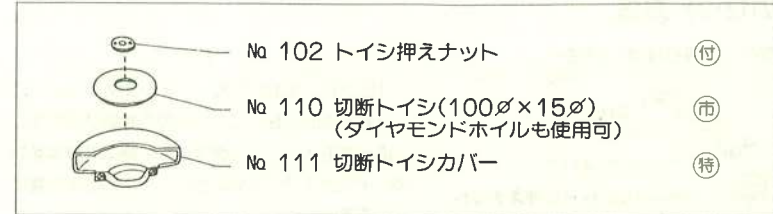
●トイシ用部品



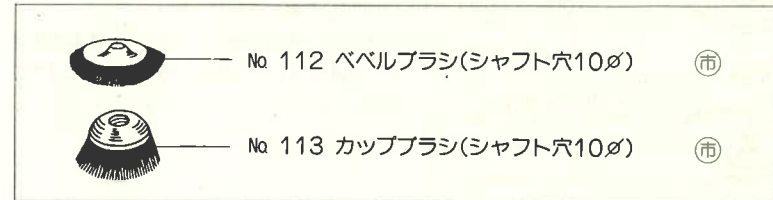
●サンディングディスク用部品



●切断トイシ用部品

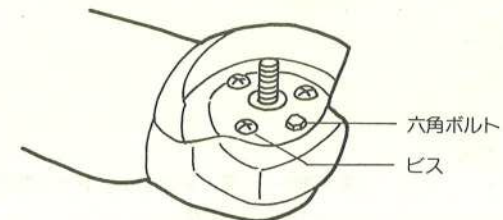


●カップワイヤブラシ、ベベルワイヤブラシ用部品



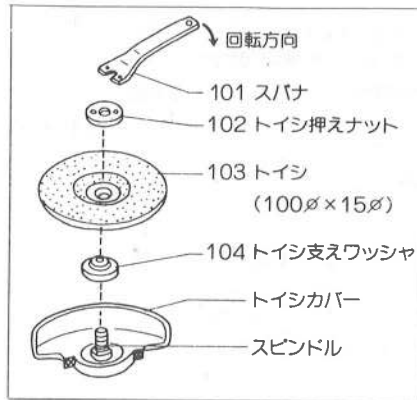
■トイシカバーの角度調整方法

- トイシカバーの角度を変更させるときは、カバーの内側についている六角ボルトをゆるめ、カバーを手で回して角度を調整して下さい。
(注) スパナの先端についている切込部を使用して回して下さい。



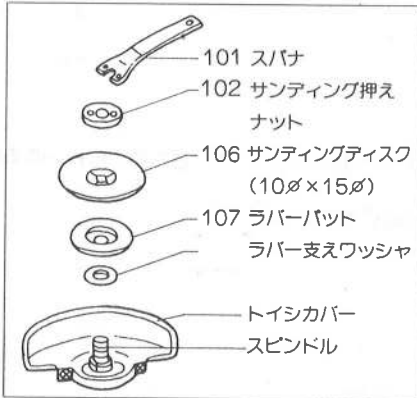
■部品のセット方法

●トイシ取り付け取りはずし方法



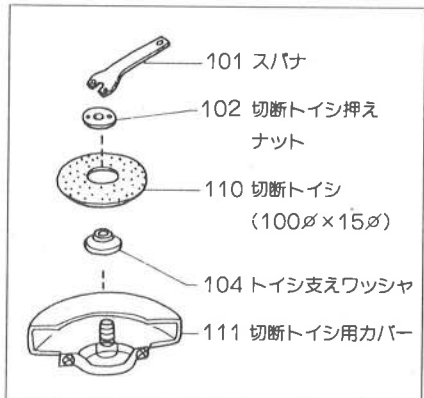
- (1)スピンドルを上にして、トイシ支えワッシャの小判型の凹部をスピンドルの小判型凸部に差し込んで下さい。(ゴム面はトイシ側になります)。
- (2)トイシ支えワッシャの上にトイシの凸面を置いて下さい。
- (3)トイシの上に、トイシ押えナットの凸面をトイシ側にして差し込んで下さい。
- (4)ロックピンを指で押して、スピンドル軸を固定し、スパナでトイシ押えナットを締めつけて下さい。

●サンディングディスクの取り付け、取りはずし方法



- (注)ディスクトイシ用トイシ支えワッシャ、トイシ用押えナットは使用しません。
- (1)スピンドルにラバー支えワッシャ、ラバーパット、サンディングの順に取り付けます。
 - (2)サンディングディスクの上に、サンディングディスク押えナットをセットして下さい。
 - (3)ロックピンを指で押して、スピンドル軸を固定し、スパナでサンディング押えナットを締めつけて下さい。

●切断トイシの取り付け、取りはずし方法

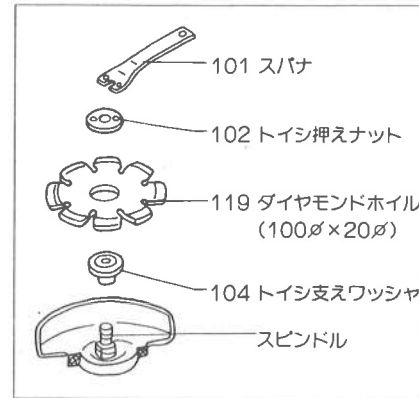


- (注)切断トイシ支えワッシャは、トイシ支えワッシャ用と同じです。
- (1)トイシカバーを取りはずし、切断用トイシカバーを取りつけて下さい。
 - (2)スピンドルにトイシ支えワッシャ、切断トイシの順につけて下さい。
 - (3)切断トイシの上から切断用トイシ押えナットの凹面をトイシ側にしてスピンドルにつけて下さい。
 - (4)ロックピンを指で押して、スピンドル軸を固定し、切断用トイシ押えナットを締めつけて下さい。

●カップワイヤーブラシ、ベベルワイヤブラシの取り付け、取りはずし方法

トイシ支えワッシャ、トイシ押えナットを使用しないで直接スピンドルに取りつけて下さい。(100φ×10φ)

●ダイヤモンドホイールの取り付け、取りはずし方法



- ①ダイヤモンドホイールは100φ×20φのものをご使用下さい。
- ②水や研削液などをかけないで下さい。
- ③切断時に無理に押えますと、焼損の原因となります。
- ④切り込み寸法は3~4%位にして下さい。
- ⑤送りの速さは加減をしながら、無理な負荷をかけないようにして下さい。
- ⑥使用前にダイヤモンドホイールに亀裂、曲り等がないことを確認して下さい。
- ⑦ご使用前に試運転をして異常のないことを確認して下さい。

- (注)トイシ支えワッシャ、トイシ押えナットはトイシ取付用と同じです。但し、トイシ支えワッシャはトイシ取付時とは上下を逆にして使用して下さい。
- A スピンドルにトイシ支えワッシャ、ダイヤモンドホイール、ナットの順に取り付けて下さい。
 - B ダイヤモンドホイールの上からホイールナットの凸部をスパナに向けてスピンドルに付けます。
 - C ロックピンを押してスピンドル軸を固定し、スパナでトイシ押えナットを締めつけて下さい。

■保守、点検

- 点検、手入れのときはスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いて下さい。
- トイシの外径が60%位まで摩耗しましたら、新品と交換して下さい。
- 各部取付ネジがゆるんでいないか点検して下さい。ゆるんでいたら、締めつけて下さい。
- モーターの内部には水、オイル等は絶対に入れないで下さい。
- モーター内部のホコリを取り除くときは、本機を無負荷で回転させ、テールカバーの風穴から湿気のない圧縮空気を吹き込んで下さい。
- 使用しない時は、安全な場所に保管して下さい。
 - ①お子様の手の届かないところ。
 - ②直射日光、風のかからない湿気の少ないところ。

■カーボンブラシの取替え

- カーボンブラシが6%以下になりましたら新品と交換して下さい。
(注) カーボンブラシを6%以下でご使用になりますと、故障の原因となります。
- カーボンブラシは下記のものをご使用下さい。

寸法6×8×12%



No116

- 交換方法はブラシホルダーのキャップをドライバーではずして交換して下さい。

■その他

本機が正常に作動しないときは、お買い上げ店、又は当社にご連絡下さい。